

わたしの  
オススメ  
2014冬

# 緑の文庫

発行:文化委員

2年文化委員オススメの一冊を一挙ご紹介!

この機会にぜひ一読あれ。

新刊を  
続々と入庫  
しています!

## 📖 バカとテストと召喚獣

著:井上堅二 電撃文庫



ぜんもう  
全盲先生、  
泣いて笑っていっぱい生きる

著:新井淑則 マガジンハウス



この作品はマンガアニメ化された、とても人気のある作品です。笑い恋愛友情など様々な要素が入っているので、誰が読んでも楽しめる作品に仕上がっています。何度読んでも飽きない、素晴らしい作品なので、図書室で一度借りてみてください。

## 📖 ミッキーマウスの憂鬱

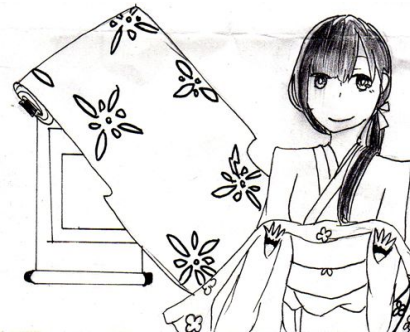
著:松岡圭祐 新潮文庫



誰もが知る、東京ディズニーランド。ある日、東京ディズニーランドでアルバイトする事になった新井。後藤。ディズニーへの憧れなどがありつつも、少しずつ成長していく彼。そしてランドやシー、ディズニー全体を揺るがす一大事が発生! その時、後藤は...。現実とフィクションが交差する、爽快青春ドラマ。ミッキーマウスやディズニーがもっと好きになれる1冊です。ぜひ読んで下さい!

## 📖 路地裏のあやかしたち 綾櫛横丁加納表具店

著:行田尚希 メディアワークス文庫



病気で、両目の視力を失ってしまふ国語の先生の新村先生。ひきこもり、自殺まで考えましたが日本初、盲導犬を連れて動くことになりました。目が見えなくてもきれいな字をかくし、声だけで生徒がだれかわかり。そういった周りの人への感謝の気持ちや努力のすばらしさを教えてくれる一冊です。

高校生の小幡迷介は父が残した作品が、夜になると動き出すという怪奇現象に悩んでいた。解決してくれる人が居るといふ路地裏へ行くと信じられぬ光景を目にする。そこで加納環と名乗る表具師と出会い、作品にこめられた父の想いを知る。日常ではあまりふれない「表具」をテーマにしたあわくほろ苦い、そして懐かしさを感じる物語です。



## ブラック・ブレット

神を目指した者たち 黒の銃弾

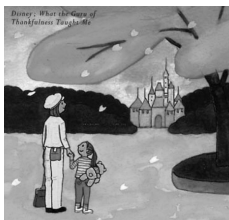
著：神崎 紫電  
アスキー・メディアワークス



2021年、ウィルス小生の寄生生物「ガストリア」との戦いに敗北した人類は各地のモリスを閉じた。それから10年、人類は「ガストリア」に、対抗するため、ガストリアウィルスを体内に宿し超人的な力をもつ少女たち「インシエーター」彼女たちをサポートし監督するプロモーター。この二人がなる「民警」ができた。民警である、里見 蓮太郎と藍原 延珠はある日、政府から特命を受ける。その内容は東京を壊滅させかねないものだった。

## ディズニー ありがとうの神様が 教えてくれたこと

著：鎌田 洋 SBクリエイティブ



この本はディズニーの元キャストの人が書いた作品です。この本で人と人が信じ合い皆で頑張るすばらしさを知りました

この本を通じて感じた事を日々の生活にも生かして見たいと思いました。ぜひ皆様も読んでみてください。

## 親指さがし

著：山田 悠介 幻冬舎文庫

親指さがし



由美・武・智彦・矢口恵・信々の5人は13歳のとき親指さがしという遊びをする。それは殺された少女の親指をさがす遊びで、車輪になって呪文を唱え少女が殺された別荘に行ける。でもいざから肩をたたかれたら糸色対に中戻り返ってはいけないという遊びだった

## 失はれる物語

著：乙一 角川文庫



交通事故で五感の全てを失い、残ったものは右腕の皮膚感覚のみ。ピアニストの妻はその腕を鍵盤に見立て、日々の想いを演奏で伝えてくれる。それは「私」にとっての唯一の救いだったから...

表題作の他、乙一の傑作短篇5作と書き下ろし2作を収録。感動、悲哀、いろんな感情を詰め込んだ作品です。

## ATARU

著：櫻井 武晴 百瀬 しのぶ  
角川文庫

ATARU

ある日、鑑名舞子という敏腕女性警察官が事件現場に行ったら、男がいました。その男の名前は、チョコザイ(本名 猪口在)。舞子はチョコザイの保護責任者になり、チョコザイの身元引き受け人を探しながら、色々な事件を解決していきます。

## キノの旅

著：時雨沢 恵一  
アスキー・メディアワークス



人間のキノと言葉を話す二輪車エルメスの旅の話です。キノとエルメスはいろいろな国に行き、そこで人に出会い文化にふれながら旅をしていきます。個性的な国や人がいっぱい出てくるのでみなさんも読んでみてはいかがでしょうか。